

秋季研究発表会のご案内

会員各位

2019年7月吉日

日本独文学会

皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

来る10月19日(土)、10月20日(日)の両日、成城大学におきまして日本独文学会秋季研究発表会を開催いたします。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。なお、プログラムは、本冊子に掲載してあります。

※研究発表会当日、本冊子を印刷ないしは電子ファイルとして閲覧可能にしてご持参ください。

※当日、会場受付にて参加費1,500円をお納めください。

(学生会員、常勤職のない会員は1,000円)

Einladung zur Herbsttagung

Die Herbsttagung der Japanischen Gesellschaft für Germanistik findet am 19. und 20. Oktober 2019 an der Seijo Universität statt. Wir freuen uns auf Ihre Teilnahme. Das Programm der Veranstaltung finden Sie auf den folgenden Seiten.

※Bringen Sie dieses Heft entweder ausgedruckt oder als Digital-Datei mit!

※Den Teilnehmerbeitrag von 1.500 Yen entrichten Sie bitte am Empfang.

(Studierende und Lehrbeauftragte (Teilzeit): 1.000 Yen)

日本独文学会

秋季研究発表会

2019年10月19日(土)・10月20日(日)

第1日 午後2時20分より

第2日 午前10時00分より

会場 成城大学 3号館

〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20

E-Mail: tagung2019seijo@jgg.jp

参加費：1,500 円

(学生会員, 常勤職のない会員は 1,000 円)

日本独文学会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-34-6 南大塚エースビル 603

Tel/Fax: 03-5950-1147

E-Mail(メールフォーム): <http://www.jgg.jp/mailform/buero>

第1日 10月19日(土)

受付開始：13:00

開会の挨拶(14:20～14:30)

A会場(311室)

関東支部長 今村 武
会 長 宮田 眞治

シンポジウム I (14:30～17:30)

A会場(311室)

中世的身体イメージと遊戯性 — 宮廷文化に内在する逸脱の傾向
**Die Vorstellung des mittelalterlichen Körpers und das Spielerische – eine der
höfischen Kultur immanente Tendenz zur Abweichung**

司会：嶋崎 啓

1. 英雄叙事詩『ヴォルムスの薔薇園』における遊戯性の意味 渡邊 徳明
2. フランス中世文学における規範と逸脱：『シャルルマーニュの巡礼』の場合 高名 康文
3. ナイトハルトのリートにおける逸脱化と暴力的な「笑い」 伊藤 亮平
4. ヴィッテンヴィーラー『指輪』における宮廷的な卑俗な身体 嶋崎 啓
5. コメニウスの『遊戯学校』と王の表象 山崎 明日香

シンポジウムⅡ (14:30~17:30)

C会場 (321室)

天国への階段—オーストリア文学における故郷表象の虚構性
Stiege zum Himmelreich. Fiktionalität des Heimatbilds in der österreichischen
Literatur

司会：前田 佳一

1. ゲオルク・トラークル「最後の詩」における祖国の死と故郷の再生
日名 淳裕
2. 「書かれたもの」の境界を問う
— ホーフマンスタール『国民の精神的空間としての書物』およびアンソロジー出版活動における「空間」理念
石橋 奈智
3. „...dieses kleine Land – zufällig mein Heimatland –“
シュテファン・ツヴァイク『昨日の世界』における「故郷」オーストリアの救済
杉山 有紀子
4. 「ウィーンは燃えている」——インゲボルク・バッハマンのオーストリア表象と脱魔術化
前田 佳一

口頭発表：語学ドイツ語教育(14:30~16:25)

B会場 (312室)

司会：境 一三・阿部 一哉

1. 視点と文構造—ドイツ語と日本語を比べる
成田 節
2. 文法習得とアクティブでコミュニカティブな授業の両立を目指して
柏木 貴久子(共同発表者:Goesch, Bettina)
3. 日本人ドイツ語学習者の WTC (Willingness to communicate) とクラスルーム内要因
山田 真実

口頭発表：文学 I (14:30～16:25)

D 会場 (322 室)

司会：浅井 英樹・高田 梓

1. 古代彫刻への誘い ——ヴィンケルマン『トルソーの記述』にみられる鑑賞者の痕跡 山取 圭澄

2. J・W・ゲーテ『スイスからの手紙 第一部』 ——スイスのヴェルテルの自然と芸術 今村 武

3. 完全性概念の展開——新旧論争からヴァイマル古典主義まで 大林 侑平

ブース発表 I (14:30～16:00)

(ブース発表は途中での出入り自由です)

E 会場 (32A 室)

Schreiben in sukzessiven „Akkorden“? Silbenweises Schreiben durch gleichzeitiges Betätigen mehrerer Computertasten und sein Potenzial für die Sprachlehre

Markus Rude

ブース発表 II (14:30～16:00)

(ブース発表は途中での出入り自由です)

F 会場 (32B 室)

Planung kollegialer Lehrbesuche (Hospitationen) mit Moodle – Möglichkeiten und Einschränkungen

Cezar Constantinescu

ポスター発表 (14:30～16:00)

(ポスターは期間中を通じて掲出されています)

G 会場 (32C 室)

日本の地方議会におけるゲーテ引用

松島 渉

ドイツ語音声が伝えるパラ言語情報：ドイツ語心態詞の発話のドイツ語話者、学習者、非母語話者による知覚 生駒 美喜 (共同発表者：小西 隆之)

懇 親 会 (18:00～20:00)

会場：成城大学7号館地下ラウンジ

会費：5,000円（学生・常勤職のない会員は3,000円）

第2日 10月20日(日)

シンポジウムⅢ (10:00~13:00)

D会場 (322室)

誕生、始まりのディスコース — 変革と転換の文学的表現

Diskurs der Geburt und des Anfangs. Momente und Motive der Neugestaltung und Umstellung in der Literatur

司会：磯崎 康太郎

1. いかにして復活はなされるのか — ヘルダー『復活について』と再生思想
岩崎 大輔
2. F・シラー『ヴィルヘルム・テル』における誕生の形姿
本田 博之
3. ワーグナー『ニーベルングの指環』における「未来の人間」と誕生の表現
加藤 恵哉
4. 反復と新生への願い — ドイツ語圏の写実主義、自然主義の「始まり」
磯崎 康太郎
5. 「作者の死」後に生まれるポストヒューマンの文学 — Cl・J・ゼッツの『Bot
作者なき対談』
眞鍋 正紀

口頭発表：文学Ⅱ (10:00~11:55)

A会場 (311室)

司会：須藤 勲・松鶴 功記

1. フランツ・カフカ『断食芸人』の語り手は何者か
三根 靖久
2. 認識の翻訳不可能性と作品の概念—ヴァルター・ベンヤミン『翻訳者の使命』
を巡って
西村 龍一
3. エルンスト・ユンガーにおける自由と技術の問題
川野 正嗣

口頭発表：文学Ⅲ/文化・社会（10:00～12:35）

C会場（321室）

司会：葛西 敬之、福岡 麻子

1. Der Einsiedler als Vorbild eines Gläubigen. Zum rein erbaulichen Element in
Grimmelshausens „Simplicissimus Teutsch“. Yuya Morishita

2. 19世紀ロシアの作家にみるハイネ受容：ロマン主義文学を超えて

金沢 友緒

3. 貴族教育に導入された演劇教育について：ルネッサンス時代からバロック時
代までの言説を手がかりに 山崎 明日香

4. F. シューベルトのリートにおける『移ろうもの』の表現 添田 久美子

ポスター発表（10:00～13:00）

（ポスターは期間中を通じて掲出されています）

G会場（32C室）

閉会の挨拶（13:05～13:10）

D会場（322室）

富山 典彦

交通と会場のご案内

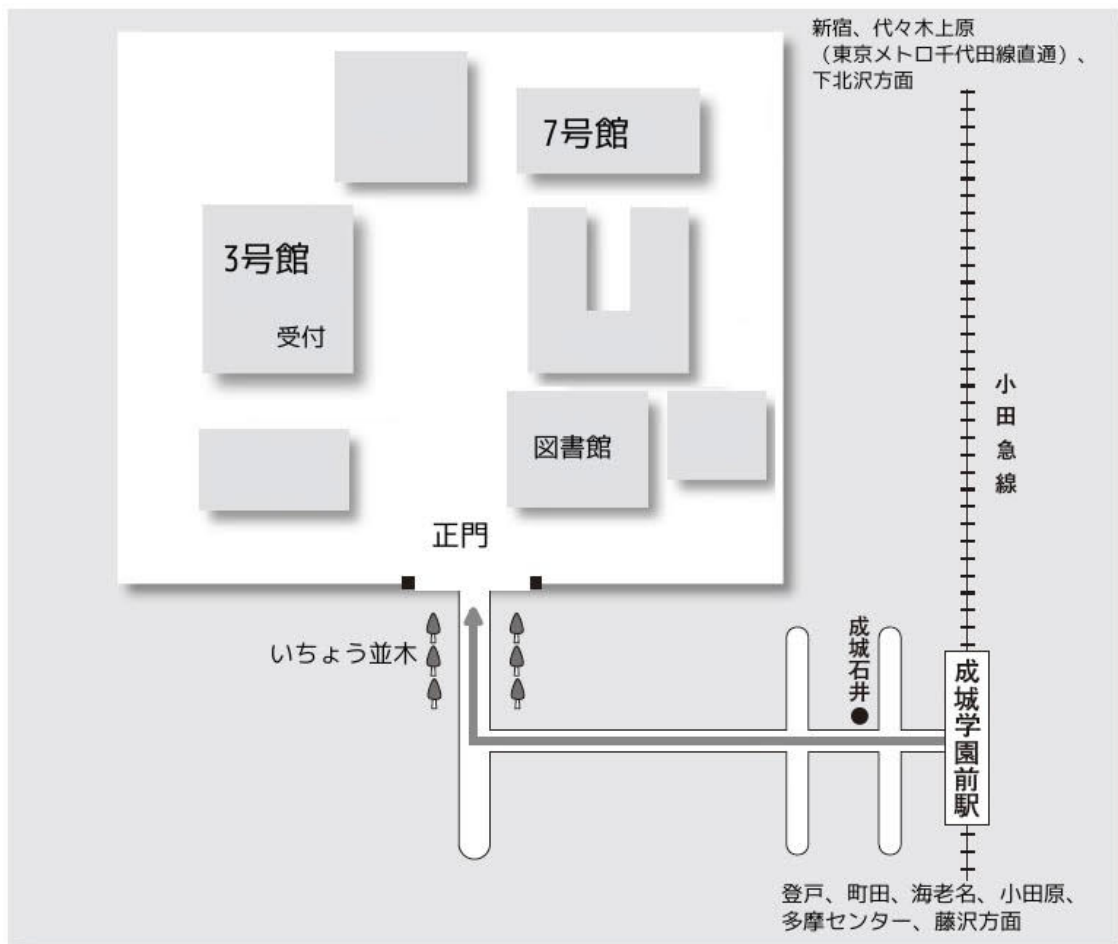
研究発表会会場：成城大学 3号館

最寄り駅：小田急小田原線「成城学園前」下車，徒歩4分

アクセス

都心方面から：小田急小田原線，小田原・片瀬江の島方面乗車。小田急線は各駅停車のほか「急行」は停車しますが，「快速急行」は通過となりますので，ご注意ください。新宿駅からの所要時間はおおよそ15分です。詳しくは成城大学ホームページをご参照ください。

交通案内：<http://www.seijo.ac.jp/access/>



小田急線「成城学園前」駅中央改札口（北口）徒歩約4分



Informationen zum Tagungsort

Die Tagung findet im 3. Gebäude auf dem Campus der Seijo Universität statt.

- Adresse: Seijo 6-1-20, Setagaya-ku, 157-8511 Tokyo

- URL: <http://www.seijo.ac.jp/en/about/contact/access.html>

懇親会のご案内

下記の通り懇親会を開催いたしますので、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日時 2019年10月19日(土) 18:00~20:00
会場 成城大学7号館地下ラウンジ
会費 一般会費 5,000円
学生・非常勤会費 3,000円

- ☆ 懇親会への参加申し込み・会費納入は、研究発表会当日、受付にて承ります。
- ☆ お申し込みの際に、学生の方または常勤職をお持ちでない方はその旨お申し出ください。学生・非常勤会費にてお受けいたします。
- ☆ 受付で会費領収書とともに、名札に貼付するシールをお渡しします。懇親会場の入り口では、シールを貼った名札が見えるようにご着用の上、ご入場ください。

担当校からのお知らせ

- ☆ 学内の食堂は10月19日(土)、20日(日)ともに営業していません。会場近くの飲食店およびスーパーやコンビニエンスストアをご利用ください。

託児サービスについて

Kindertagesstätte während der Herbsttagung 2019

2017 年以降総会・春季研究発表会開催期間中の託児サービスは、以前の会場校の施設を使った託児に代わって、一時保育等をご利用いただき、その利用料金を学会が補助するという形で行っております。今回の秋季研究発表会は首都圏開催ということもあり、春に準じた託児サービスを提供いたします。

補助金ご希望の方は以下の要領に従いお申し込みください。

託児場所：自宅近くなど都合の良い一時保育施設をご利用ください。自宅でのベビーシッター等の利用も可能です。遠方の方は下記申し込み先までなるべく早めにご相談ください。

託児期間：10月19日（土）10:00～18:00，10月20日（日）10:00～13:00
および託児場所と学会会場の往復に必要な時間

託児費用：学会が補助金として負担します。適切な料金の施設の利用をお願いいたします。

対象年齢：利用する託児施設の定めるところによります。ただし小学校4年生までに限ります。

申込締切：10月4日（金）

申込先： kinder@jgg.jp

申し込みの際は下記的事项をお知らせください。

1. 申込者の氏名・住所・連絡先（メールアドレス）
2. 託児利用日，時間，託児場所と学会会場の間の所要時間
3. 利用する施設の名称・住所・電話番号
4. 託児料金の見積もり（メールのコピー等で結構です）

利用後に領収書を提出していただき、それにもとづき補助金を支給します。

※2017年1月28日の日本独文学会理事会決定にもとづき、今後は可能であれば補助金方式で託児サービスを運営することにいたします。